

農業委員会広報誌

みどりのこだま

第94号

発行所: 大津市農業委員会

令和6年3月15日発行

大津市御陵町3番1号

みどりのこだま編集部

TEL (077) 528-2680

大津市農業委員憲章(抜粋)

大津市農業委員は

- 一 農業・農村・農業者の代表者として、新基本法農政の推進に努め、市民の期待と信頼に応えます。
- 一 食料の自給率向上のため、適正な農地行政に努め、優良農地の確保と効率利用を進めます。
- 一 意欲ある担い手を育成確保し、望ましい農業構造を実現するため、農用地の利用集積と集団化に努めます。

令和5年度農業委員会委員と農業者等との意見交換会を開催しました。



↑ 事例・意見発表の様子



写真(上) 付箋の内容を発表し、皆で思いや考えを共有しました。

写真(右) 各班で、思いや考えを書いた付箋を、カテゴリごとに分けて整理しました。活発な話し合いが行われていました。

その後、十班に分かれて、ワークショップ方式による話し合いを行い、各自、付箋に思いや考えを書いて、模造紙に貼り付けていきました。

「南部地域における諸問題について」として、市街化区域農地の固定資産税の負担について、後継者問題については田上、上田上地区の高齢化率をもとに、それぞれ事例・意見発表を行いました。

上田委員は、「担い手の立場から見る獣害問題について」として、新規就農者のデータやリアルな獣害の状況を、上坂委員は、「中山間地域特有の問題点について」として、仰木地区の状況を踏まえ、中山間地域の問題点を、上野委員は、「南部地域における諸問題について」として、市街化区域農地の固定資産税の負担について、後継者問題については田上、上田上地区の高齢化率をもとに、それぞれ事例・意見発表を行いました。

冒頭、大津市産業観光部農林水産課長より「大津市の農業情勢と農業振興ビジョンについて」講演をしていただきました。続いて、農業委員三名が、農業を取り巻く状況等について事例・意見発表を行いました。

令和六年一月三十日、大津市農業委員会委員と農業者等との意見交換会を開催しました。

冒頭、大津市産業観光部農林水産課長より「大津市の農業情勢と農業振興ビジョンについて」講演をしていただきました。続いて、農業委員三名が、農業を取り巻く状況等について事例・意見発表を行いました。



付箋を用いたワークショップ方式を採用したことで、農業を取り巻く状況の詳細や、たくさんのおもいや考えを聞くことができました。その一部を紹介します。

農業を取り巻く現在の状況

- 市街化区域の固定資産税が高い
- 獣害がひどい
- 機械などにお金がかかる
- 後継者がいない
- 草刈りが大変
- 耕作放棄地が増えてきている等

大津市の農業に望むこと

- 農業に関する総合窓口があればよい
- 農地に対する税金の優遇
- スマート農業の推進
- 特産品の開発・普及
- 新しい人材の確保・育成
- 地産・地消の推進
- 兼業農家への支援 等

みなさんからいただいた貴重なご意見等は、今後、委員会において、大津市に対する「意見書」として取りまとめ、提出する予定です。

大津市の農業施策がよりよいものになるよう、願いを込めて作成していきたいと思えます。